

# は づ

No. 7

羽津地区市民センター  
羽津地区社会福祉協議会  
昭和58年2月25日

## 別名5・6丁目へもひろがる!!

青年団が積極的にバックアップ

伝承(集団)  
あそびの運動

心身ともに健やかな子供たちを育てようと、羽津山町でつづけられている伝承(集団)あそびの運動が、昨年11月より別名5・6丁目でもとりくまれています。

これには、かねてよりこの運動の推進役をと準備をすすめていた羽津青年団が全面的に協力、同町の子供会育成会との連携のもとに毎月第3日曜日に実施されています。当日、あつまった子供たちは、青年団のお兄さんやお姉さんと、縄とび、かごめかごめ、きゆうてん、靴とりなどといった色々な遊びに疲れもしらず跳びはねたり駆けまわったりして、いかに楽しそうでした。



のびのびと遊ぶ子供たちに非行なし

# 腹の立ったことはこれだ!!



いまの世の中、せわしない。おとなは仕事、子供は勉強、のんびりできるひまもない。欲求不満とストレスは、たまると一方やるかたない。それでも、我慢するしかない。我慢しなけりゃ飯くえない。中流を守っていくのも楽じゃない。ないないづくしの毎日に、たまには激怒もしてみたら? そう考えてみなさんに、お聞きしたのがこのとおり……。

## 弁償すればいいの?

ガチャン! またガラス割られた。外へとびだしていくと張本人の子供が立っている。おもわず、「どうしてくれるの!」と言おうとしたら、その前に「弁償すりゃいいんだろ」の先制パンチ。あいた口がふさがらなくなる。

世の中、なんでも弁償すりゃいいってもんじゃない。だいたい、ガチャンの精神的ショックとこの怒りをどう弁償してくれるというの!

## 迷惑してます

### まちがい電話

「もしもし、Kさん?」「いえ、Tですが」「えっ、Kさんじゃないの……変だなあ……」ガチャン。荒っぽく電話をきる音が耳に痛い。

## 無神経な人々

毎日の通勤電車の中。満員なのに大して長くもない足を堂々と組んでいる奴。禁煙だというのに平気で煙草をすう奴。あたりにかまわず大声で喋りまくる高笑している奴。荷物を横に坐らせてすまし顔の奴。ちょっと詰めればもう一人坐れるのにドカンとのさばっている奴。

そして、年寄りを立たせて座席を占領し、物を食いちらかしているかと思えば、車内を走りまわる悪ガキども! 大人も子供も無神経きわまらないのだ。たまには、他人



この乱雑さ! まさに銀輪公害  
なんとかしたいものですね (霞ヶ浦駅にて)

## なんべん来るの? 寄付の押しつけ

家族のものを送り出し、洗濯を終ってやっとひと息しているとき、訪れてくるのに寄付の押しつけや押し売りがあ。最近、いろいろな寄付があ。その手で、昼間、手薄になったわたしたちに迫って

## 給料あがらず アップアップ

行政改革。人勧凍結、予算の零シーリング。中曽根さん今度は中々やるなど拍手を送っていたが……。防衛費は別枠、減税お流れ、年金福祉は切り捨て。景気停滞で来春の賃上げは望み薄。子供は年々成長し物いり盛りで四苦八苦。いっそ「ン」を切り捨てて時間凍結もして貰いたい。

## フン害に 大ファンガイ

最近、生活が安定するにつれペットを飼う家庭が増えてきました。朝夕、犬を連れて、散歩している人をよく見かけます。

それで迷惑しているのが所かまわずする犬のフン公害です。誰しも、家の周囲や道路で、犬のフンを見かけると、嫌な思いをするものです。この前、子供が靴で踏み、困ったこともありまし。

## 取材を おわって

男あり女あり、複数でくるものなど多種多様で、それのことわっておとなしく引きさがっていくものもありですがなかには泣きおどして迫るかと思うと、威圧的に半ば強制的なものがあり、一人で留守番をしていると不安と恐怖と腹だたしでいっばいときがある。寄付の趣旨に賛同しかねる場合のことわり方にも苦慮しています。わけのわか

## 東と西の かずくらべ

同じ諺でも洋の東西で数字に差があるようだ。  
◎話半分 金と知恵と美德に関する話は、その四分の一しか信用してはならない。  
◎三人寄れば文殊の知恵 二つの目なら一つより多くのものが見える。  
◎人の噂も七十五日 人の興味はせいぜい九日しかもたない。  
◎十で神童、十五で才子、二十過ぎては只の人  
◎五才で大人になる子は十五才で愚か者となる。  
◎百日の説法屁一つ 一時間の寒さで七年間暖めた成果が無駄になる。  
◎三度目の正直 三度目がすべての償いをして呉れる。  
◎六十の手習い 学ぶのに遅過ぎるということはない。  
◎なくて七くせ 誰にも欠点(複数)はある。

## 忙しい忙しいは もうやめて

ハヨウ起きナ、ハヨウ食ベナ、ハヨウ用意シナ、ハヨウ行きナ。せき立てられるように学校へ。運動会でもあるまいし、そんなに「ハヨウ・ハヨウ」と追い立てなくても。僕だって時間は心得てきちんと一人で出来るんだから。忙しい母ちゃん、今頃一人でどうしているかナア……。

「お母さん。博くんネい自転車……」 「今、お夕飯の準備で忙しいノ。あとにしてネ」 夕食後。「お母さん、アノ……」 「今、忙しいノ。片づけがすんでからネ。おとなの人って、どうしていつも忙しいのかしら。なんでも話してネ」は本当なの?  
(聞いて欲しい子)

## 意外と 少なかった激怒 ~でも、これでいいのかも?

●激怒、忿怒、憤激の腹立日記 天下国家から社会、職場、そして親子、夫婦、嫁姑の家庭にいたるまでのバラエティに富んだものを期待していたのだが……。

●案外、みんな大人しい表現だね。微笑みながら怒っているみたい。しかも激怒したことはあるんだけど、それが何であったのか忘れてしまったという人も多かったよ。

●激怒なんて、そんなものなのだよ。一過性ですぐに忘れてしま。だから、いいのであって、こんなものをいつまでも続けていたんじや身がもたない。

●激怒は、激怒のままに持続しない。たいていは屈折して、愚痴となり小言となる。そして、更に深く静かに潜行すれば怨念というものになる。

●あまりゾツとしない話だな。やっぱり、激怒は激怒として、その場かぎりにパツと派手にぶちまけて、あとはきれいなつぱりというほうが、いいなあ。

●破壊をとまなつた激怒もいけない。雨ふって地固るのように、創造につながる怒りが大切だ。

●人を傷つけるだけの怒りは駄目だね。むしろ、人を喜ばせながら、自分の胸もスカッとすする怒りができたら、いいなあ。

●ユーモアと最後には思いやりのある怒りというのだが、難しい。

●まあ、何事もほどほどに、泣き笑い、怒るのが人生。要は、節度と生きた心を生かさないことだな。

●怒りは少ないにこしたことはないが、それが心を失くした結果だとしたら、恐いね……。



みんなのお手本 —— けさも、糞処理のシャベルとビニール袋をもって犬の散歩にでかける別名2丁目の中西さん

# ステキなおとなりさん♡

## 別名2丁目の大久保静子さん(左)と 吉富時子さん(中央)のご一家



昔から「遠い親戚より近くの他人」といわれるように、お隣りとのふだんからのつきあいは大切です。お宅では、いかがですか？ 本号を皮切りに、順次、みなさんにうかがっていくことにしました。

新聞紙上に「隣との交際が全くなかった」と書かれた記事がよく目にとまります。私の家の周囲は、閑静な環境の中にあり、地の人が少ないせいか、現代に欠けているといわれるお隣りとの親しく協力しあう交際がありません。毎日の生活の中で、お隣りの自慢料理をいただいたり、主婦の仕事に欠かせない料理

の作り方や味の秘訣を教えてください。いただいたり、また余暇をみて布や手袋を利用したフラワール、マスコット人形づくりなど、アイデアを活かした手芸を一緒に楽しんだりしています。

少年非行がめだつ現状の中、親子の対話もスムーズで、色々とお教えられることの多い素敵なお隣りです。(大久保)

### 提言

#### 地域づくりの第一歩は

#### 「むこう三軒両どなり」から

久しく叫ばれていながら、いまひとつ盛りあがり欠ける地域づくり。その場合の地域とは、行政区としての県や市町村それにもう少し範囲の狭い自治会単位としての区とか町を意味していることが多い。しかし、それをさらにしぼっていけば、町は組へ、組はいわゆる「むこう三軒両どなり」へ、そして最終的には各々の家庭と家庭のなかの個人にまでマイクロ化することができる。

地域の原点は、あくまでも個人およびそのあつまりとしての家庭にあることを確認する必要がある。そうして、家庭内での円滑な人間関係がつけられることを前提に、それを隣り近所とのコミュニケーションへと広げていくことが、地域づくりの第一歩であることも、隣りどうしがお互いに孤立し、無視しあう関係にあることは、人間生活にとって決して本来のものではない。

### 全住民の協力で いつもきれいなゴミの処理

#### 大宮町

やっと明るくなりかけた一月の早朝六時半。十数名の男女がザッザッと心地よいサラエの音をこたまして城山公園の掃除をしている。再生ゴミ当番の人たちである。

「お早うございます」「ご苦労さんですネ」 つぎからつぎと再生ゴミを持ち込んで来る人々は、当番さんに元気な声であいさつをしながらピン・空きかん・ポロ布など、それぞれに仕分けをし整然と並べてゆく……。

「アノウ、しょうゆびんは今

本年の一月、羽津地区社会福祉協議会に対し、現金で寄せられました。

### 地区の社会福祉のために 五十万円を寄贈

#### 城山町 森 国夫さん

日で良かったかしら？」と若い奥さん。「ビニールだから次の十九日埋立ゴミの日にして下さい」当番はやさしく指導する。七時に当番は終了。あとは役員さんなど数名が残る。くつきりとサラエの跡のついた広場の一角には、整然と並べられた再生品が朝日を

いっぱい浴びていた。大宮町の各組が交替制でゴミ当番を始めてから約四年。今ではゴミに対する関心も高まり、指定時間以外の放置や非該当品の持ち込みなど全くない。当日のみ臨時にゴミ集積所となる城山公園は、いつも清潔な遊び場となっている。

### 空き地の枯草はキケンです!! 火災予防のためぜひ刈り取りを

北消防署 加藤 清

風が強くと、空気が乾燥している今日この頃、枯草は、たいへん燃えやすい状況になっています。

昨年一年間、当北消防署の管内では四十一件の火災がありました。そのうち、空地等の枯草の火災は実に十五件で、全体の三十六%を占めており、その大部分が一月から四月までの時期に集中しています。

北消防署では、この種の火災を未然に防止するため、昨年の十一月から空地等で枯草が密生し、火災があった場合に周辺の住宅等に延焼する危険のある場所の調査を行い、ただち

#### 枯草(が)用心!



## お家の知恵



現代人が、とかく迷信だときめつけがちな昔からの言いつたえ。その中には、意外と私たちの祖先の知恵が生きていることも少なくありません。

本欄では、地区のお年寄りにうかがったことを、順番にご紹介します。

- ◎ どじょうに黒砂糖をかけると、とけるからそれをはれもの(口のないおでき)につけるとよくききます。
- ◎ 熱が出てさむけがする時、「つちふまず」をもむとよい。
- ◎ あじさいの花を乾燥させ、それをせんじて飲むと下熱剤になる。
- ◎ 虫さされ、切きずなどに灯油をつけると痛みがとまり、また化膿しにくい。
- ◎ ウルシにかぶれた時、沢蟹をつぶしてその汁をつけるとよくききます。
- ◎ ごきぶりを寄せつけない藪には、たたみの下などに、よもぎをしいておくとよい。
- ◎ けがをした時、草の何でもよいから三種類を一緒にかんで、それを傷につけると血どめになる。

## わたしの健康法



今も現役の柏木さん  
いつまでもお元気で!

### 長寿のひけつは平静心

大宮町 柏木一三(85才)

私に健康法なし、食事に好き嫌いなし。夕食後、風呂に入り、すぐ床につく。

朝は早起鳥。ラジオの人生読本をきき、六時半起床。健康には心の平静が第一。

私も、現代社会の構成員として生きて居る。そのことをよく自覚し、天与の心と身体の機能を充分に活かし、全うする

活動に精進すること。大きな喜びと思つて居ります。

更に、事に当つては自業自得、因果応報の理を弁ませ、他に責を求めず己の物とする心機が心の平静を得させ、即ち健康につながるかと考えて居ます。

◆柏木さんは、現在も市の農業委員長をされ、地区の長老としても活躍中です。

## わが家の白慢料理

『大阪風お好み焼』

材料(二枚分)  
○キャベツ二枚  
○山の芋(すり下したもの) 大匙一・五杯  
○メリケン粉 大匙一杯  
○玉子 大一個  
○牛肉もしくは豚肉の薄切り 二枚程

キャベツは千切りにします。山の芋は厚つ目に皮をむいて酢水につけ、おろし金ですり下します。

ボールにキャベツ、山の芋、メリケン粉、玉子を入れ、よくかきまぜます。鉄板にオイルを引き、

材料の三分の二ほどをのせ、その上に肉を並べ、残りの材料でかくすようにします。

二分間ほどで裏返し、中の肉に火が通るまでよく焼きまぜます。焼いたら、トンカツソース、粉かつおをかけますが、お好みでマヨネーズもどうぞ。

お肉のかわりに、海老いか、カキ等を入れてもいいですよ。

カキを入れる時には、長ねぎのみじん切りを入れることをお忘れになりませんように。

(鶴町 石井治代)



### はせつかへ 杖部私考

別名四丁目 森 元三  
《羽津地区郷土史研究会長》



ボランティアに生きる  
山口 能武子さん

「何もしてないのよ」  
掲載を何度も辞退された。「社会とのつながりを持ちたい」のが動機でボランティアとして四日市社協に登録されたこと。

### これからが勉強…と

たのこと。昨年エビノ園、共栄作業所、小山田特老聖母の家等の人々の作品を展示即売する「福祉の店」のお手伝いに

行った。「まだ始めたばかり。これから勉強させていただく」と謙虚に言われる。節度と明るい愛嬌を共に持っている、美しい人とみた。(別名、三丁目)



### シリーズ 郷土の歴史 第6回

伊勢国朝明郡羽津村地誌には、「本村八住時朝明郡額田郷二属ス」とあり、その論拠を「古屋草紙」に依つたとしている。また、勢陽五鈴遺響には「旧名鉢世都加倍ナルヲ後世署シテ羽津ト称シ六ヶ村ノ総名トシタルナラン」とある。額田の郷名は、いたる所において、中でも桑名郡の額田郷が有名である。九〇五年の「延喜式」および九三一年の「和名類聚鈔」をみれば、桑名郡はもとより朝明郡六郷の内額田(沼加田)郷も、たしかに記されてある。しかし、両書とも文字だけで地図は付されていないから、その所在位置は不明である。

する北より額田、豊田、訓霸、杖部郷の順で南の三重郡に接し、西からは田光、大金と続き、訓霸郷に接する地理とされている。

しかし、これについて不審に思えることは、伊勢名勝志にもいう額田部連の遠祖である意富伊賀都命を祀るとされる式内伊賀留我神社が杖部郷にあり、額田部氏の遠祖天津彦根命の孫の意富伊賀都命の陵墓とされるものが式内志氏神社の境内にて嘉永三年三月の社殿改修の際に発見されていることである。

阿気、八幡、白須賀、田市場云々。そして、最後まで杖部郷の字句はない。草紙の著者、古屋久語は三重郡松本村の人であるが、遠くもない羽津村の地誌について額田と杖部を同郷と考え、杖部郷の存在を否定したのではないかと推断されるのである。

杖部の杖は、古事記にいう伊那那岐命が杖を棄てて生れた衝立船戸神、また日本書記でいう岐神に因縁するらしい。部落の入口や道の分岐点に祀って、部落に邪悪の

入ることを防ぐための神である。「延喜式」には、朝明郡二十四座の内に長合神社の名がある。勢陽五鈴遺響は「志底の巽位五町羽津村別名にあり」とし、衝立船戸神を奉祀するとある。「和名抄」によると、横首杖を加世都恵というとしており、また杖部を鉢世都加倍と訓している。おそらく、この加世都恵と鉢世都加倍は同義であり、長合神社の名の由来も、これとの関連で考えることができるように思う。ちなみに、加世都恵なる横首杖とは、手に握る部分が横になった杖のことをいうのである。

ともかく、杖部と長合神社、それに羽津と称する現在の地名とのつながりは、否定しえないものと考えられる。「大日本地名辞書」は、杖部は走使部であり、その部民が住したところによって、杖部郷と称したのであろうとしている。「羽津」が杖部からの転訛であることは、ほぼ間違いない。



「子の心 親知らず」  
社会教育指導員 平子 末春



### 子育てをまなぶ

### 「母親教室」へあなたもどうぞ!!

日頃、私たちは子供の心を知っているようで意外と知らないのではないのでしょうか? また、子供に「あしなさい」「そんなことしてはダメ」などと命令や過干渉をくりかえしかえって子供の心を傷つけ、やる気を失わせてはいないでしょうか。

母親教室では、「親が変われば子ども変わる」を合言葉に、心ゆたかな母親像をめざして、お互いに話しあい努力しあっています。

毎月一回、羽津のセンターを会場に、大井講師さんを囲んでのなごやかな雰囲気での学習会ですが、すでに十数回をこなして、失敗と反省の中から少しずつでも変わっていく自分を感じます。

子育てに悩んでみえる方、勉強してみたいという方、ぜひ一度、ご参加ください。

詳しくは、別名三丁目 林 光恵(32-6386)まで

### 俳句

《志氏ヶ野句会より》

村田 青麥選

- 田仕舞の蕪海風に焼くばかり 羽津町 大森みつる
- 退院の子が戸にもたれ蓼の花 城山町 片岡とき代
- 日のをせて真砂に浮かぶ落葉かな 城山町 川合光津子
- 露草のやはらかに咲き草の中 城山町 川本ふみ
- 菊の蝶静かにあれば乱すまじ 八田町 久志本幹子
- 絵具溶くや曼珠沙華画く赫を濃く 白須賀町 館三三子
- 祭の灯冷え冷えとあり夜獅子舞ふ 羽津町 藤井 築城
- 奥能登の葛に埋れし過疎の村 羽津町 藤井まきへ
- 日照雨来て芭蕉の広葉濡らす音 羽津町 藤井まき女
- 喪の家の鶏頭の朱を淋しみし 大宮町 武藤弘子
- 日の石の裏の冷たき秋深し 城山町 宮田健三
- 古刹への坂道ながし馬酔木咲く 金場町 森 房子
- 瀧の水石に広がり透きとほる 鶴町 安田源吉
- 赤とんぼ狂ひ咲く花ふるはせて 大宮町 山本 幸

### 短歌

《羽津野短歌会より》

小林 英選

- 新年の光あかあかと充つる朝 大宮町 小井正二
- 大きく息を吸ひて迎へたり 大宮町 小井正二
- 千里浜に白波高し砂原を 走る自動車越ゆるかに見ゆ 大宮西町 井村左兵衛
- 孫にやるお年玉らし指折りて 祝儀袋に札入るる姑 鶴町 伊藤品子

- 長野峠を越えて幾曲り紅葉にあふこともなし杉山の峡 大宮町 加藤光子
- ピーマンの初成り一つ織に切り野菜炒めの色どりとしぬ 富士町 杉本光子

- 待ちわびし正月も過ぎ帰るわれを見送る父母の長く手を振る 別名一丁目 長谷川楨子
- 初鏡しみのふえたる古稀の顔に薄化粧して屠蘇を祝ひぬ 羽津町 藤井まきへ
- 還暦のお祝ひにとて娘が呉れし赤きバイクに注連を飾りぬ 金場町 森 房子

### 詩舞を習ってみませんか?

### 子供さんも大歓迎

毎週月曜日の夜、センターで練習している詩舞。

正式には、剣詩舞道といまして、吟詠とともに舞う日本の伝統的芸能のひとつです。

腹の底から声を出し、体を適度に動かして舞うのですから、健康にもたいへん良いと思います。

特に、舞うにあたっての礼と節を重んじますので、健全な精神をやしなうのにも最適です。

子供さんも、どんどん入門してください。お待ちしております。

お申込みは、城山町 川合光津子(31-8680)まで





▲高令者教室  
(6月18日～7月16日)

地域社会に果たすお年寄りの役割について熱心に学びました。



▼地区防災訓練  
(9月5日)

救急法の訓練もやりました。



▲地区運動会  
(10月31日)

フレー! フレー!  
子供たちも  
頑張りました。



◀地区ゲートボール大会  
(11月14日)

優勝は羽津山町老人Aチーム、  
準優勝は別名老人チームでした。



フォト  
でみる  
行事あらかると

## 各町めぐり

### ⑤ 八田町(第一)



久志本茂臣さんに訊く

自治会長

八田町の現状についてお聞かせ願いますか?

久志本 ご承知のように市街化が進み戸数もどんどん増え続けています。八田町は三つの自治会に分れていますが、私の第一自治会だけでも二二〇戸となりました。数十戸ほどの頃がこの間のように思われ、今昔の感がいたします。

#### むかしは地藏盆で

にぎわいました

八田(第一)と言えば地藏さんが浮んできますが……  
久志本 昭和の初め頃までの地藏盆は盆踊りや映画会などで大変

なにごわいでした。今では幟・ちようちんで飾り、町内の各戸がお供えをしてお参りする程度です。

#### 親ぼく旅行を

ふれあいの場に

古い「しきたり」が消えてゆくのは淋しいですね。  
久志本 確かにそんな感傷にふけることもあります。しかし発展を続けている町ですから、今の時代に合った地域づくりが大切だと思います。私の町内では毎年親ぼく旅行を実施していますが、みんなが顔見知りとなり、気軽に何でも話し合えるようになりました。

#### あとがき

今回は、少し変わった編集をしてみました。皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。

#### 編集メンバー

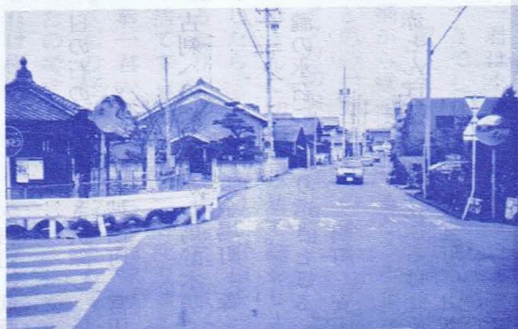
- ◇武藤秀雄(社教推進委員)
- ◇天野平一(社教推進委員)
- ◇岡屋孝子(羽津中PTA)
- ◇小平容子(羽津小PTA)
- ◇酒井マチ子(北小PTA)
- ◇羽津地区市民センター

#### 羽津の人口

(昭和57年12月末現在)

男	6,528人	-1
女	6,538人	-10
合計	13,066人	-11
世帯数	3,850世帯	+1

前回比



八田町(第1)の町並み

最後に町運営の抱負を……  
久志本 旧八幡神社の拝殿を町の集会所に使っていますが、古い建物で傷みがひどく、かつ手狭となってきました。この際、建て直してはとの声もでています。  
市街化が進むにつれ、用排水路の清掃整備も問題となってきました。当地区には、かなりの農地が残っていますので、農家・非農家の兼ね合いを考えながら問題解決に取り組んでゆきたいと思えます。